



IWAMI CHISUIKAN HIGH SCHOOL IWAMI CHISUIKAN HIGH SCHOOL IWAMI

## 12月17日に2年生を対象に講演会を開催しました。

講師：内田美智子先生

### プロフィール

大分県竹田市（旧荻町）出身。福岡赤十字病院産科勤務を経て、1988年、福岡県行橋市で産婦人科医の夫と内田産婦人科医院を開業。2004年、九州思春期研究会設立。事務局長をつとめる。福岡県子育てアドバイザー、福岡県社会教育委員。「生」「性」「いのち」「食」をテーマに講演活動を積極的におこなっている。著者に『ここ 食卓から始まる生教育』『いのちをいただく』（西日本新聞社、共著）『お母さんは命がけであなたを産みました』（青春出版社）など。



### 研修から学んだこと・感想・・・

高校から寮生活を始めて、親のありがたさを感じるようになってからは、親への感謝の気持ちは伝えられるようになりました。自分でこの高校を選んで、遠くから送り出さずずっと応援してくれている両親のためにも、今、部活も勉強も頑張っていて、卒業するとき、ここに行かせてよかったと思ってもらえるようにしたいです。これまで、勉強か部活かどっちかだけにしたいかと思ったこともあったけど、世界にはそんな自由すら与えられていない人達がいる、自分はとても幸せなのだ気づきました。また自分の手で人生を切り開いた、私と変わらない年頃の人たちの話を聞いて、あきらめかけていたことを絶対に叶えてやる！という気持ちになりました。そのためにどんな小さいことでも変えていかないといけないので、まず昼休みに10分の仮眠をして、午後の授業も集中できるようにして、勉強させてもらっているのを無駄にしないようにしようと思います。また帰省した時に、朝4時に起きて朝ご飯を作ってみようと思いました。



この90分間、いろいろなことを学び、感じ、考えたので、どんな風にまとめればいいのか分かりません。スライドを見ているときに、今年亡くなった祖母を思い出して泣きそうになりました。いつも私の事を考えてくれて、いろんな話を聞いてくれたり、時には厳しく注意してくれたり・・・。亡くなる前の数日間には意識がなく、ずっと寝ているような状態だったので、感謝の言葉をきちんと伝えることができませんでした。だからこそ、自分を大変な思いをして生んでくれ、育ててくれた親には感謝の気持ちをしっかりと伝えたいです。早く立派な大人になって親孝行をしたいと思いました。今できる親孝行は、親からもらった命と体を大切に持って、自分が選んだ道ですべきことを精一杯することだと思います。「自分が選んだことに責任を持って」これは親から何度も言われ、自分の中に常にある言葉です。中学で部活を決めるときも、どの高校に入学するか決めるときも、親はこうしろとは言わず、この言葉で背中を押してくれました。だから、今まで自分が通ってきた道はすべて自分の意志で決めたものです。でも今日内田さんの講演を聞き、このことを忘れかけていた自分に気づきました。私が自分で決めた道のために親はどれだけのものを犠牲にして私に充ててくれているのか、どれだけの人の支えられて今過ごしているのか。こう感じたことで今何を変えるべきなのか、しっかりと考える事が出来たと思います。今日の講演を聞いて良かったです。

世界中で私の見えない所で、同じ歳の子が強い生き方をしているのを初めて知りました。スライドを見て、お話を聞いて、自分の人生は自分で変えていくものなんだと思ったので、口だけではなくきちんと行動に移して少しずつでも変わりたいと思いました。命の大切さについて、今まで何回も話を聞いたことがあるけど、毎回、親のありがたみがわかります。いつも親にきつく当たってしまうけど、自分が今こうして学校に来れたり、お弁当が食べれたりできているのは、本当に幸せなんだと思いました。

今回の講演会には、江津市内のキリスト教愛真高等学校からも生徒さんたちが参加され、熱心に耳を傾けておられました。また、今後とも何かの機会でも交流を持っていただけたらと思います。